

## 1. これまでの実施概要

### 第1回

令和6年8月26日（月）  
09:50～11:55

- 議題：**
- ①公共施設在り方検討委員会について
  - ②公共施設の在り方・再編方針のイメージと検討の進め方について
  - ③公共施設の現況と課題及び検討の論点について
  - ④ワークショップの概要について
  - ⑤次回以降の開催日について

## 2. これまでの検討経緯（公共施設のこれから在り方に対する主な意見）

### 第1回～第2回

#### 公共施設のこれから在り方

##### 【共通】

- ・将来的な無人管理も見据え、エネルギー等の遠隔や自動管理、DXによる全体最適化も検討できるといい
- ・自由に使える施設であっても、想定される使われ方を示すなどある程度の規律は必要
- ・自由に使えるだけでなく、転用できる視点も必要
- ・多様な人が使う施設であることも認識しておくべき
- ・複合化により創出される余剰公有地に対しても資産として捉えるべき
- ・機能・サービスに応じて受益者負担とすることもあるといいのではないか

##### 【学校施設】

- ・地域が利用できる諸室や学童保育所の確保等を検討されており、今後は、学校の建替時に様々な施設との複合化は考えられるだろう
- ・優先度をつけて対応するべき学校施設は早急な対応が必要
- ・学校施設の複合化を検討する際には、子どもが参加できる検討プロセスをとってほしい
- ・R10年度まで児童・生徒数の増加が見込まれている中で、別施設との複合化は考えにくい。夜間の教室利用や音楽室等の開放、プールの共同利用などの方法がとれるとよい。

##### 【子育て支援施設】

- ・教育相談、不登校児の学びの場はとても重要。フリー スクールも含めて行政が支えていくべきことは議論を深めていくべき

##### 【図書館】

- ・駅前などの図書の受取ポストの設置
- ・受取ポストでの本の紹介・感想返信機能の導入

### 第2回

令和6年11月25日（月）  
09:30～11:30

- 議題：**
- ①検討の進め方について（本日の位置づけ）
  - ②公共施設等の現況等について
  - ③公共施設機能の現状とこれからの在り方について
  - ④相乗効果が見込まれる公共施設機能の組合せについて

### 第3回

令和7年3月17日（月）  
10:00～12:00

- 報告：**
- ①公共施設等の現況等について
  - ②職員検討会の結果について
  - ③市民ワークショップの結果について

- 議題：**
- ①これからの公共施設の在り方について  
・これからの公共施設の将来ビジョン  
・施設配置方針（エリアの捉え方）

### 第4回

令和7年5月19日（月）  
10:00～11:40

- 報告：**
- ①今後の進め方について

- 議題：**
- ①これからの公共施設が目指すビジョンについて
  - ②エリア別の公共施設マネジメント方針について

### 第5回

令和7年7月16日（水）  
10:00～12:02

- 埼玉県志木市立志木小学校・いろは遊学館・いろは遊学図書館視察**

### 第6回

令和7年9月1日（月）  
09:30～11:30

- 報告：**
- ①今後の進め方について
  - ②視察報告書について

- 議題：**
- ①これからの公共施設が目指すビジョンについて
  - ②エリア別の公共施設再編方針について
  - ③学校施設の活用について

### 第3回～第4回

#### これからの公共施設が目指すビジョン

##### 【共通】

- ・ハコの作り方と使われ方、運営のあり方を区分したほうがよい
- ・宮地楽器ホール周辺のような空間ができるとよい
- ・公共施設全体の最大公約数的な視点と、施設ごとの具体性を両立させた議論が必要

##### 【学校施設】

- ・学校や教育の在り方をより丁寧に記述すべき、学校施設の視点からみると全てのビジョンを包含するものでもないよう感じる

##### 【交流・つながりの場】

- ・つながらない自由も重要
- ・交流を促すためのソフト面の仕掛け、つながりによるメリットを示すことが必要

##### 【目的によらない自由に利用できる場】

- ・フレキシブルの考え方を議論するべき
- ・学校や図書館は前提となる機能が重要、その上で他の利用が許容されるとよい
- ・公民館と集会所など同じような利用がされている施設は一体的に運用されるべき

##### 【短期的な対応の視点】

- ・予約や施設運用等、短期的に対応できることは進めほしい
- ・整備だけでなく、用途廃止後の解体前の活用も考えられるとよい

##### 【新庁舎の活用】

- ・事業の進捗を踏まえ、具体的な数値等の条件の中で活用を検討したほうがよい

##### 【公民の役割分担】

- ・総量抑制に向けて、公共が担うべきサービスの濃淡を検討してはどうか
- ・今後の想定も踏まえて防災機能は強化・拡充が必要

##### 【官民連携の推進】

- ・市の計画通りに事業が進行できない可能性も考慮するべき
- ・民間活用に向けては事業性の検討も必要
- ・民施設の積極的な活用の視点もあるとよい
- ・地場の事業者が参加しやすい官民連携であるとよい

##### 施設配置方針（エリアの捉え方）

- ・中学校区を1つのエリアとして考えるのはよいが、中学校をコア施設とするのは疑問。コア施設は5つ必要か。緑中学校、東中学校エリアは駅周辺の拠点施設とあわせて考えてよいのでは
- ・中学校区ごとに施設を集約することで財政健全化が達成できるかを示してほしい
- ・エリアでの公共施設再編と交流・創造拠点の役割の違いは丁寧に示すべき、交流・創造の拠点の担う機能、エリア設定の考え方を示すべき
- ・公共交通を利用した際のアクセスなどについても説明があるとよい

##### 【集約・複合化のイメージ】

- ・集約・複合化の受入先として、保健センターや本庁舎の跡地などの在り方も考えるべき
- ・児童・生徒が増え教室不足の中、優先的に学校施設への機能集約をベースに考えてよい

### 第6回

#### これからの公共施設が目指すビジョン

##### 【共通】

- ・対象となる公共施設を定義すべき
- ・具体施設を想定したビジョンの表現の工夫があってよいのではないか
- ・サービス提供側にとってのイメージもあるとよい
- ・どのようにビジョンを具体化していくか慎重に整理するべき
- ・学校施設の活用を見据えると自由に利用できる場等の表現は調整が必要

##### 【公民の役割分担】

- ・市民サービスに対して市がどのように責任をもつか丁寧に示した方がよい
- ・民間活力の活用がビジョン全体にかかるのであればリード文で整理してもよいのではないか
- ・社会が変化する中でも必ず残る行政として関わるべきコアの部分については維持し、それ以外の機能をフレキシブルにしていくことがわかる表現とするべき

##### 施設配置方針（エリアの捉え方）

##### 【交流・創造の拠点】

- ・新庁舎・（仮称）新福祉社会館に関しては、不調となった現状も踏まえた表現とするべき
- ・新築・更新を基本とした表現とするのは避けるべき
- ・目指すべきビジョンであり、実現に向けた手法は次のステップで検討すること

##### 【エリア名称】

- ・中学校区は住民としてはわかりやすいので括弧書きでも併記したほうがよい
- ・都市計画マスタープランの表現や防災の考え方と整合が取れているとよい
- ・中学校区を基本としている学校だけでないエリア内の公共施設を対象に再編を考えていくことを明記した方がよい

##### 学校施設の活用

- ・教職員にとっても良くないと複合化の意義がないのではないか
- ・学校施設長寿命化計画から地域連携の促進等を受け、条件が合えば複合化を検討していくことは整理してほしい
- ・タイミングや状況を分析し、複合化の組合せを各エリアで今後考えていくことを示すのが役割ではないか